

製品やエネルギーを使いながら、快適な日常生活を送っています。これらの資源は無限にあるものではありません。また、近年はごみの増加による環境汚染も心配されています。これらの問題を解決する一つの有効な方法が、リサイクルなのです。

リサイクルをすることで、次のような利点があります。

①ごみの量が減る

ごみ処理方法の中心は焼却です。リサイクルをすればごみの発生量が減り、単純にいつてもその分、環境センターから排出される二酸化炭素や大気汚染物質の量が少なくなります。また、市民の税金で賄われているごみ処理費用も節約できます。

②エネルギーを節約できる

リサイクルして製品を再生産すると、従来の生産方法と比較して、エネルギーを大幅に節約できます。紙では七〇〜七五%、鉄では六五%、アルミニウムでは九七%も節約になるといわれています。

③自然環境を保全できる

資源には限りがあります。リサイクルにより、金属などの有益物質は有効利用でき、紙の再利用は森林を守ることになります。天然資源の採取量を減らすことで自然環境を保全することができます。

④汚染物質が減る

リサイクルが進むと、工場でのエネルギーや水の使用量が減り、大気汚染物質や水質汚濁物質を減らすことができます。ごみの中に含まれる水銀などもリサイクルできます。

捨てられています

たくさんの資源

ごみの中には私たち消費者のニーズに合わ



せた多種多様な使い捨て商品をはじめ、新聞紙、雑誌、包装紙、飲料用スチール缶やアルミ缶、まだ使えそうな自転車や電化製品なども捨てられています。また、生ごみも昔のように調理せずではなく、食べ残しや使い残しの食品が多くなりました。

これらごみの中には、そのままでも利用できるものや、きちんと分別することで資源として活用できるものがたくさん含まれているのです。

まずは、

ごみを出さない工夫から

リサイクルの良さは分かりました。「じゃあ、具体的に何をどうすればいいの?」と思っているかた、意外に多いんじゃないでしょうか。市で行っている分別収集のうち、燃やせるごみと燃やせないごみの分別は、ほとんどのかたがご存じのはず。問題は、資源ごみの分別収集(月一回)もしていることを知らないかたが多いという事実です。「私は知ってるよ!」と思ったあなた、目の前に並べられたごみを、全部自信を持って分別しきれますか? そう、実は、マスコミなどで熱心に報じられているほどには、住民のリサイクル熱は一般化していないらしいのです。裏を返せば、そんな実情があるから、あれほどにまでマスコミが騒ぐのだ、ともいえます。

なぜ、リサイクルという考え方が浸透していかないのでしょうか。こんな特集記事を読むまでもなく、皆さんだって、ごみはきちんと分別して出したほうがいいし、リサイクルが進めば地球環境を保護できる、ということぐらい、今や漠然とでも分かっているはず。ここでも、「面倒だ」という一言が浮上してきます。人は、自分にとって楽しいことや、また